

「寺子屋ワイズの温泉どっぷり論」♨



京都ウエストワイズメンズクラブ

森 田 恵 三

2026年1月発行

寺子屋ワイズの温泉どっぷり論

京都ウエストワイズメンズクラブ

森 田 恵 三

1. 会員増強の意義はどこにあるのでしょうか。

どっぷり温泉に浸かっていただく前に、会員増強ということは如何なることかに触れておきたいと思います。

そもそもワイズダム発展には、量的拡大を目指すクラブ拡張 (Extension) と会員増強 (Membership)、そして質的充実を目指す (Conservation) の二大要因があります。私はその二大要因によるワイズ発展は次の公式で表現されると思っています。

$$\text{良 質} \times \text{多 量} = \text{大 き さ} + \text{強 さ}$$

即ち、会員の質を高め、量の増加に努力するという相乗効果によって、ワイズメンズクラブという運動体を拡大させ、内容を強化させることになる訳であり単純な原理なのです。

強化には単に体力のみでなく、クラブが明るく、仲良く、楽しく元気で活気があることなども意味します。

運動体を拡大強化することによって、会員の人格向上とワイズメンである矜持が確立し、依ってその働きにより社会におけるワイズの認知度の向上を招くことになるとの確信を抱いています。

有限生命体である人々が共感する理念のもとに組織化されたクラブは、一個の集合体として無限の生命を持つことになります。つまり、クラブはこの会員の入会数が退会数を上回る純増という新陳代謝の効果をあげ、正しく良質な活動と運営を図ることによって長命を維持することができるのです。

ここに会員増強の重要な意義があり、会員は入会勧奨による新会員を増やすことと、会員の退会を少なくすることに絶えず努力せねばならないのであります。

これより本書では、入会勧奨と退会防止にあたって参考としていただけることを願って私見を述べさせていただきたいと思います。

2. ワイズへの入会とはワイズ温泉への入浴なのです。

誰でも入浴するときの浴槽への浸かり方は、湯加減をたしかめるようにつま先からゆっくりと入り、腹、胸、肩へと身を沈めるのが普通ではないでしょうか。そして肩までどっぷりと浸かってこそ、その湯の温かさや気持ちの良さを感じることができて、それを繰り返すことによって温泉の物理的効用や化学的効用のありがたさが、体感できるのです。ま

さにこれこそが、「冷暖自知」の体験学習の第一歩というのでしょうか。

厳粛に行われるクラブの入会式において、感激とともに、一方では期待と不安が交錯した複雑な心境を味わった新会員には、ワイズへの入会をワイズ温泉への入浴と理解することからはじめていただければ良いと思うのです。

そして、新会員は「ワイズは愛に基づく自己研鑽の場」であるとの認識に至るまで、自身の質的向上に努めていただこうことを願うものです。

3. 新会員がどっぷり浸かるためのポイントは何でしょう。

それでは、温泉につま先から肩までどっぷり浸かるための大切なポイントは何でしょう。次のようなことが列挙できるかと思います。

- ① ワイズを知るために。まず何はともあれどっぷり浸かってみようと決心すること。
「やるなら決めよ。決めたら迷うな。」です。
- ② 守るべき義務を果たし、人に迷惑をかけない自分であってこそ他に奉仕できることを知り、まず自分を作ることこそ大切なことです。
- ③ ワイズ諸活動の原点は、毎月欠かさず開かれる例会への出席にあり、奉仕の心を育てる親睦の場として有効な楽しい例会にすることが出来るか出来ないかは、会員自身の能動的な心構えと行動にもかかっていることを自覚してほしいのです。
- ④ 毎月届く理事通信、クラブ会則やブリテン、西日本区ハンドブックによる定款や諸規則、ワイズ読本などの学習資料にも折を見て馴染んでいきましょう。
- ⑤ 例会や諸行事に出席しやすくするために身辺の環境整備に努めること。家族や職場関係者に対しても機会あるごとにワイズへの理解と協力を求めてください。
- ⑥ クラブ行事・他クラブ訪問・シンポジウム・部会・区大会・地域大会・国際大会・YMC A行事などへは可能な限り参加体験を得てください。その効果によってワイズのもつ素晴らしい交流の醍醐味を味わえることになるのです。
- ⑦ ワイズ活動の流れにあって自分が納得いかないことや疑問に思うことがあれば、躊躇せず紹介会員である先輩会員に尋ねて解決しておくことも大切なことでしょう。
- ⑧ どっぷり浸かる時間と費用は消費ではなく自分自身への投資であることを意識してください。
- ⑨ ワイズの三大特性の理解に努めましょう。

●Christianity

キリストが説く隣人愛がワイズの基本精神ですが、ワイズは決して教会ではないこと。ワイズはあらゆる人々が宗教・信条を超えて他のためにつくす奉仕クラブであることを理解しましょう。

●YMC Aとワイズメンズクラブの独立性

ワイズメンはYMC A会員になることになっていますが、ワイズはYMC Aの中のクラブではなく、両者は共通の精神基盤に立つ独立の奉仕団体でありパートナー関係

なのです。そしてワイズの奉仕スタイルにはYMC Aへの直接奉仕だけでなく、YMC Aと共同の社会奉仕や独自の社会奉仕があることも心得ましょう。

●メネットとの協調奉仕

最近は日常生活が多様化しているためメネットの活動が弱くなっている傾向にはありますが、メネットがワイズメンの良き助け手となっての奉仕活動や、メネットクラブとしての独自の活動もあること。メネットの立場を超える奉仕者として女性ワイズメンになることも可能であることを知ってください。

4. どっぷり浸かるため七つの気力を発揮しましょう。

何事によらず物事を達成するには体力もさりながら、なんといっても気力が大切です。当然ながら日常のどっぷり浸かるワイズライフに活かしてまいりましょう。

① 本気になってー

まず、本気になること。何事によらず本気で引き受けることです。
いやいや引き受けことはマイナス思考、チャンスと引き受けすることはプラス思考です。

◎ 「本気になると 自分が変わってくる 世界が変わってくる
変わッていなかつたら 本気になつていい証拠だ
本気な恋 本気な仕事 (本気なワイズ)
ああ人生一度こいつをつかまんことには」 (仏教詩人・農村詩人 坂村真民)
「やるなら決めろ！決めたら迷うな」「人生ただ一度なるもの」を肝に銘じましょう。

② やる気をだしてー

やる気は人から与えられるものでなく、自分が生み出すものでしょう。
まず、どっぷり浸かる決心をしていただいて、「この一年はやったるぞ！」の気を発揮してほしいのです。

まず、どっぷり浸かる決心をしていただきたい。必ずやる気が持続するはずです。

③ 勇気を奮ってー

くじけそうになったとき、投げ出したいとき、新しいことに取り組むときには勇気を奮ってください。

◎水五訓 その2 「障害に遭いて激して勢いを百倍するは水なり」 (黒田如水)
無事泰平な状況にあるときでも、困難、逆境に陥ることがあります。ピンチをチャンスと捉え気持ちを引き締めて事にあたれば、そこから順調なときには出なかった知恵や力が出てきて、画期的進歩や革新も生まれてくると思います。

④ 根気よく一

何事をするにも手抜きをせず続けることが大切で、手抜きをすると楽なようでも失敗します。

◎樂すれば 楽が邪魔して 楽ならず 楽せぬ樂が はるか樂々 (畠語歌)

「継続は力なり」は何をしているかではなく、何を続けているかであるといわれます。遅い返事や回答、物事の進捗の遅れ、気になることがいっぱい出てくる時も、我慢が大切。自らが見本となって何事も指導、助言して成果を上げてほしいものです。

◎「人生に特効薬はない ひとつひとつの積み重ねの上にしか花も実もならない

(一灯園 石川 洋)

⑤ 陽気に一

明るく、温かく、生き生きと笑顔で楽しい奉仕を目指しましょう。

暗くて陰気な人には人も集まらないし、幸運もやってこないのは当然のことではないでしょうか。

◎「来る人も また来る人も 福の神」となるには陽気でなくては駄目だと思います。
「楽しい所には人は集まる」は一つの社会的原理ですね。

⑥ 元気澁渾に一

何よりも健康が大切、元気がなく勢いがないと失敗することが多いでしょう。

何の役でも任期一年と云えども長い。役職を受ければ本当に忙しくなりますが、くれぐれもストレスを溜めないようにしたいもの。任期途中でのダウンは皆に迷惑をかけることになるのですから。

⑦ 熱気を発散して一

何といってもこれが最も大切な気。自分の思考も行動も熱意の有無によって、生き生きしたものになったり、生氣のないものになったりするものです。

「人はその人の熱意に動かされる」と言う言葉を忘れないでいただきたいものです。

◎水五訓 その1 「自ら活動して他を動かすは水なり」 (黒田如水)

少々知識が乏しく、才能に乏しい点があっても、一生懸命の熱意があれば、思わぬ援助や見えない加勢が自然に生まれてきます。それは、あたかも磁石が周囲の鉄粉を引き付けるように、熱気は周囲の人を引き付け情勢も大きく動かしていくことになるでしょう。

以上のように七つの気を持って何事にも望めば成功は間違いない、成功によって得られる自分への報酬は、「心にあふれる喜びと感謝の念」なのです。

感謝の心が、人間の幸福や喜びを生み出す根源。感謝の心が、高まれば高まるほど喜びと幸福感が高まっていくことでしょう。

5. クラブの先輩会員にも果たすべき助成義務あることを知りましょう。

ここまででは新会員にワイズメンとして求めたい学習知識と期待することに、些かなりともお役に立てるかと思われる事項について述べてきました。

つぎには希望をもって入会される新会員を受け入れるクラブや先輩会員にも心がけねばならない助成義務があることについて考えてみましょう。

- ① まず入会を勧める場合ですが、常に入会を勧奨できる候補者の有無を常に念頭に置いておくことです。
- ② 入会を勧めるポイントは、その人のためになるという強い信念と情熱を發揮することが大切ということです。及び腰の態度ではその熱意がしっかり伝わりません。まさに相手を思いやる心「愛」からの勧誘「奉仕の実践」であらねばならないのです。
- ③ 初めから奉仕、奉仕と真正面に唱える愚かさは避けて、例会にゲストとして招き、少しずつ自分自身の体験として、これまで見聞きしてきた先輩ワイズの行動や思考を織り交ぜながら、良き友が出来て自己の人間向上に繋がっていることに熱意をもって語ってみてください。誰しも興味ある話であり、誘ってくれる人の生き生きとした表情が窺われ、自分のことを真剣に思って誘ってくれているのだなあと感じられる時こそ、初めて好奇心をそそられるものなのです。
- ④ 関心をもって入会の意思を示されれば、なるべく早くクラブに順応できるようマニュアルに則ったワイズの概要についてのオリエンテーションを実施した後、所定の手続きを経て入会していただきます。
- ⑤ 入会式はマニュアルにのっとり、元気よく厳粛に挙行し、終了後は出席者全員による歓迎の握手と祝意を述べることをもって新会員を激励しましょう。
- ⑥ 幸いにも入会された後の紹介会員は当分の間は例会時の同席や諸行事への同伴など、常に思いやりある気配りをもって新会員の成長を助成することが大変重要なのです。
- ⑦ その後はできる限り早い例会において新人スピーチの機会を作り、クラブ内での融合、理解が進むように配慮してください。

6. ワイズで得た感謝と大きな喜びについて

私自身を振り返り見るとき、未知の世界であった「京都パレスワイズメンズクラブ」という「ワイズ温泉」に、一抹の不安と期待が交錯した思いを抱きながら、つま先から浸かりこんで以来、なんと55年の長き日々をメネットとともにどっぷりと湯に浸かり、ワイズ温泉が持つ素晴らしい薬効を受けていることに心から感謝しています。

ただ一度の人生にあって、愛と奉仕をモットーとするワイズのお陰によって「他への奉仕を通して、結局は自分が奉仕されているのだ」と気付かしめられた喜びは、まさにわが人生訓である「われ他の中にこそ生きてあれ」をさらに一段と強めてくれるものと

なり、この大きな喜びを他に分かち合う運動こそワイズメンとしての使命であり、生き甲斐であると強く確信しています。

最後に私が日頃よく口にする愛すべき古歌を皆さんに贈ります。

『喜べば、 喜び神が 喜んで 喜び集めて 喜びにくる』

新会員の皆様にはぜひともワイズ温泉にどっぷり浸かっていただき、ワイズメンズクラブの素晴らしい醍醐味を体得してほしいとの思いを抱いて、拙い文章を開陳してまいりました。

短い時間で通読願えるかと思いますので、ぜひ一度はお目通しをいただくことを願ってやみません。必ずやワイズへの理解を深めることにお役に立つかと思います。

何かご意見なり、お尋ね事項がございましたら、忌憚なく下記へご一報いただきますようお願いいたします。

TEL 075-332-3511 E-mail keizo@tkcnf.or.jp
090-3672-7971

(2026年1月発行)

森田恵三 ワイズメンズクラブ略歴

- 1971.3 京都パレスクラブチャーターメンバー
- 1977~78 京都パレスクラブ第7代会長 「心ひとつに」
- 1979~81 京都ウエストクラブへ移籍初代会長
1979年度 「苦中味楽でクラブ造りを！」
1980年度 「ふれあいと学び」
- 1983~84 日本区京滋部初代部長
「鍛えようわが心、わがクラブー京滋の地に実りと拡がりを求めてー」
- 1992~93 日本区第38代理事
「拡げよう社会にワイズの大きな輪
—日本区6000の実りを求めてー」
- 1993~95 アジア地域MC事業主任
「ワイズ温泉どっぷり論」アジア地域会報に寄稿
- 1994~95 日本区ワイズアカデミー委員長 (次期役員・会長研修制度制定)
- 1996~99 国際議員
「国際社会における拡大と発展についての私見」を
国際会長Kim Bong-Hee宛提出
- 1999~03 西日本区組織検討委員長
- 2016~23 西日本区ワイズ将来構想特別委員会委員長
- 2021.6 京都ウエスト40周年記念誌に併合して
「京都ウエストの温故知新」(1期~41期)を発行
- 2024.8 「ワイズの禁」を発行
- 2025.4 「寺子屋ワイズの道しるべ」を発行
- 2026.1 新版「寺子屋ワイズの温泉どっぷり論」発行

「寺子屋ワイスの温泉どっぷり論」

令和8年（2026年）1月1日発行

編集・発行 森田 恵三

印刷・製本 株式会社 京都こぴい